



自分の気持ち・友だちの気持ち 必ず気付いてくれる!



保育園では乳児の頃から集団生活が始まりますが、まだ言葉が話せない子どももいます。たくさんの子どもたちの中で自分の想いを伝えるには、こんな行動が見られます。

噛みつき 引っ掻き ひっぱる 押す など…

幼児期に近づくと、自分の思いが先行し、行動や言葉が出ます。友だちが持っていた玩具を「それ欲しい!」と奪い取る…。保育者が仲立ちし、話を聞くと、**だって私が使いたいから!!**

おうちではあまり見られない行動かもしれません。お休みの日にお友だちと遊んでいて、こんな行動が見られた時、お子さまになんて話して伝えますか？

怒らないであげてください。子ども達に悪気はありません。自分の思いを素直に伝えた結果です。大切な成長段階の一つです。



まずはお子さまの気持ちを受け止めてあげましょう。こうしたかったんだね。こうだったのかな？

ただ、相手に嫌な気持ちにさせてしまったことも事実なのでそこは話してあげてください。**きっと悲しい気持ちだったよ**と。

何度か繰り返されると思います。その都度伝えることで、**必ず気付く日が来ます。**

もういいやと諦めないで下さい。

諦めることは子どもの可能性を諦めることと同じです。

パレット保育園の保育者は、諦めません。

子どもの可能性を信じています。

大きな家族として、みんなで伝え続けていきましょう!

